

自治協働のまちづくり 山形県最上町



最上町概要

- ・人口 9,000人
- ・面積330km² 山林84%
- ・高齢化率 35.5%



※ 地方創生「地域に自信と誇りを持つ」

- ◎ 集落活性化支援事業の充実「町民が主役」
- ◎ 集落活性化「自治交付金制度の制定」
- ◎ まちづくりの出口をイメージする。
- ◎ 地域づくり＝地域経営
- ◎ 地域再生の基本は文化向上「絆づくり」
- ※ 全国山村振興連盟は唯一各省庁連携機関

集落自治組織
集落ビジョン作成



① 「子育て大国最上町」
医療費・保育料・奨学支援

教育文化向上



魅力を満喫



地産地消 食育発信



六育「食育・遊育・知育・森育・健育・職育」

子供達から元気を
頂く「一心響音」

※地域づくり「絆の源泉は文化向上」
※「将来の最上町の担い手は僕達です。
若者のまちづくり参加動機付け



② 健康と福祉のまちづくり
町全体が福祉施設

生涯現役社会

ウエルネスタウン構想
体の健康・心の健康・社会の健康

支え合う
居住空間
絆づくり

志民
生涯現役

元気
光齢者

信頼

魅力ある職場

役割りが実感
期待されている

地域包括ケア保健・医療・福祉の充実・
人材育成・自助・共助・プラス雪対策



健康づくり

子供達と一緒に
子育て支援=いきがい支援

健康サロン

③ 産業振興(農観商工連携)



6次産業化推進

集落営農・地域営農の推進 農地の集約化(基盤整備)
担い手育成・労働力確保・体験交流・教育旅行の推進

④ バイオマス産業都市 「地方創生の願いは里山再生」

山形県最上町
若者定住環境モデルタウン
いよいよ募集開始!

山形県最上町
若者定住環境モデルタウン

多住・定住お試し体験
住宅支援
研修支援
就労支援

◎ 6棟 1600万円~1700万円
違うデザインでエネルギーの
組み合わせモデルハウス
◎ 7区画 土地分譲
◎ 集合住宅 PFI提案

国有林バイオマス活用
協定書締結

平成30年度
森林環境税創設

実質事業効果4500万
・雇用・チップ生産3200万
・化石燃料換算4500万
・地域活性化600万
・プラント運営費3800万

地方創生
森林ノミクス推進

県立農林大学
林業経営学科

- ・バイオマスチップ工場
- ・バイオマスペレット工場
- ・バイオマス発電工場
- ・バイオマス園芸ハウス
- ・木の駅プロジェクト

バイオマス
供給基地

ウェルネス
プラザ

大学連携キャンパス

赤倉
温泉